

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	①家庭教育の充実			地域教育支援課	A
施策の内容	家庭の教育力を向上させる必要があることから、乳幼児の親や小・中学校PTAを対象とした家庭教育に関するさまざまな学習の機会を提供します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA家庭教育学級委託事業:54校</li> <li>・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:108人)</li> <li>・保育園家庭教育講座:18回(参加者数:444人)</li> <li>・幼稚園家庭教育講座:3回(参加者数:127人)</li> <li>・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:50人)</li> <li>・登録講師を対象に家庭教育講座に向けての研修会を実施しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	幼保高家庭教育講座(回)	8	18	22	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
評価の理由	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、市立保育園・高等学校、私立幼稚園で計22回実施し、参加保護者のみならず保育士・教職員にも好評で、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に家庭教育講座の実施に向けて呼びかけ、家庭の教育力の向上を図ります。				

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	②学童保育の充実			教育財務課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就労により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。</li> <li>・老朽化した学童保育室の保育環境を良くするため、その改善に努めます。</li> </ul>				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の学童保育室を利用する児童数は1,916人です(全児童に占める割合は11.0%、入室を待機している児童はいない)。</li> <li>・32の学童保育室のうち唯一学校敷地外にあった高階南学童保育室について、児童の安全と建物の老朽化に対応するため、校舎内の改修工事を行い、9月に学校内へ移転しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	年度当初の入室児童数(人)	1,906	1,902	1,916	
	老朽化対応率(全プレハブ室数に占める築30年未満の室数の割合)(%)	77	77	75	
評価の理由	年度当初の入室児童数は概ね横ばいですが、申請があった入室要件を満たした児童を全て受け入れており、児童の放課後等の居場所確保を図ることができました。また、老朽化対応としては、高階南学童保育室の移転を実施しましたので、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	老朽化(築30年以上)したプレハブ学童保育室の改築については、第三次川越市総合計画実施計画に基づき改築を行っていきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 意見	<p>・家庭教育学級については、保護者のみならず保育士・教職員など教育に携わっている方も一緒に参加しているため、大変、好感が持てる。</p> <p>・学童保育室への送迎について、交通事故に対する安全配慮の徹底をお願いしたい。</p> <p>・学童保育室については、施設・設備の充実と指導員の確保に努めてもらいたい。</p>				A

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課	担当課評価
細 施 策	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備			地域教育支援課	B
施策の内容	子どもたちが、地域社会で健やかに育ちゆくため、地域ぐるみ教育のためのネットワークを整備し、家庭や地域社会の教育に対する関心と責任意識を高めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回「学校・家庭・地域の連携による協働事業についての報告及び意見交換」(平成24年5月16日実施)</li> <li>・臨時会「いじめ防止対策に向けた取組についての報告及び意見交換」(平成24年10月29日実施)</li> <li>・第2回「これまでの会議の総括及び意見交換」(平成25年3月28日実施)</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議開催(回)	2	2	3	
評価の理由	計画に加え、臨時に会議を開催し、「いじめ防止対策に向けた取組についての報告及び意見交換」を実施するとともに、各委員から子どもたちをめぐるさまざまな意見や報告を集約することができ、概ね順調に進まれています。				
改善の方策等	3年間の計画で開催した「川越市地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議」が、平成24年度をもって計画通り終了したことから、新たな地域ぐるみで教育を推進するためのネットワーク作りを進めます。				

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課	担当課評価		
細 施 策	②学びを支援するシステムの整備			地域教育支援課	A		
施策の内容	子どもたちの生きる力を育むため、学校・家庭・地域の連携を深め、地域ぐるみで学びを支援するシステムとして、子どもサポート事業や学校応援団活動を更に推進し、家庭や地域の教育力を高めていきます。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート委員会によるイベント型事業数 127件(延べ参加者数:28,347人)</li> <li>・子どもサポート委員会による学校応援団活動数 225件(延べ参加者数:2,592人)</li> <li>・子どもサポート委員会開催数 133回(延べ出席者数2,757人)</li> </ul>						
指標及び説明	【指標】 ①子どもサポート事業への参加者数 ②学校応援団の活動数		【説明】 ①市内14地区の子どもサポート事業への参加者数 ②市内14地区の子どもサポート委員会が市内小・中学校へ学校応援団として活動する数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	① 人	11,105	15,409	22,196	33,696		
② 件	107	138	144	225			216
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサポート事業への参加者数は、各地区の特色を生かし、子どもたちの体験活動を充実する事業が多かったため、目標を達成することができました。</li> <li>・学校応援団の活動数については、これまで実施していなかったサポート委員会にも活動が広がるなどして、目標を達成することができました。</li> </ul>						
改善の方策等	持続可能な活動にしていくために、スタッフの世代交代や人材の発掘を支援します。また、各サポート委員会間の情報交換や活動発表を進め、子どもたちの実態に即した活動内容の改善に向けて支援していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上					担当課	担当課評価
細 施 策	③社会教育関係団体への支援					地域教育支援課	A
施策の内容	子どもたちの学びや体験活動の充実を図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアリーダーズスクール(第31期生)講座数:5回 受講者数:112人 認定証授与者数:109人</li> <li>・ジュニアリーダーズクラブ登録者の割合:89.0%(97人)</li> <li>・社会教育関係団体等の活動の活性化と充実のために補助金を交付しました。 川越市子ども会育成団体連絡協議会:333,000円、川越市PTA連合会:333,000円</li> </ul>						
指標及び説明	【指標】 ジュニアリーダーズクラブ登録者の割合			【説明】 ジュニアリーダーズスクール認証者のうち、ジュニアリーダーズクラブに登録した児童の割合			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実 績 値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	%	82.5	85.7	84.1	89.0		85.0
評価の理由	ジュニアリーダーズスクールについては、修了後ジュニアリーダーズクラブに登録し、子ども会の指導や支援のために活動するなど、着実な成果をあげることができ、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	ジュニアリーダーズスクールにおいては、認定者が校区ジュニアリーダーズクラブへより多く登録し、ジュニアリーダーとして活動できるよう環境整備や支援体制の充実を図ります。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備	地域教育支援課	B	A	
	②学びを支援するシステムの整備	地域教育支援課	A		
	③社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A		
学識経験者意見等	子どもサポート事業への参加者が大幅に増加している点について非常に高く評価できる。				A

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立					担当課	担当課評価
細 施 策	①生涯学習推進のための拠点施設設置					文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	地域振興ふれあい拠点施設に生涯学習センターの設置を進めます。						
平成24年度実績	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)は、県と市の共同事業として川越駅西口に新ホールを含む複合施設として計画されています。この中に生涯学習センターの一部の機能を持つ市民活動(生涯学習等)施設が整備されることになっており、建物の完成は平成26年度中を予定しています。 平成24年度は、市民活動(生涯学習等)施設の管理・運営について庁内検討委員会や関係部署による検討部会を開催しました。						
指標及び説明	【指標】 生涯学習センターの設置			【説明】 生涯学習施設(センター)の設置数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	館	0	0	0	0		1
評価の理由	平成24年度の実績値は0ですが、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の中に設置される市民活動(生涯学習等)施設の運営等について庁内で検討部会を設けて検討を進めておりますので、事業は概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	平成25年度から、文化芸術振興課内に文化施設担当を設け、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の管理・運営に関わる事務を担当する職員を2人から4人に増員しました。今後も、施設完成に向け具体的な管理・運営方法について検討していきます。						

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立					担当課	担当課評価
細 施 策	②社会教育職員研修の充実					地域教育支援課	C
施策の内容	市民の多様化する学習要求に応えるため、計画的に専門的な研修の機会を設け、関係職員の資質・能力の向上を図るとともに、学習者の視点に立った学習内容・学習方法の改善・工夫に努めます。						
平成24年度実績	・障害者対応事業を実施するための研修会実施 2回 (参加者 50人)						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	研修会参加者数(人)	64	53	50			
	主事講習職員派遣数(人)	1	1	0			
評価の理由	研修会への参加者数は、講座担当者の専門的な研修会としたため、平成23年度と比較して横ばいですが、講座実施回数は計画どおり実施できました。また、社会教育主事講習職員派遣者数については、派遣者の調整がつかなかったため、総合的に勘案するとあまり順調ではありません。						
改善の方策等	障害者対応事業を企画・運営している担当者の声を聞きながら、障害者理解のための専門的な研修の充実を図っていきます。また、社会教育主事講習職員派遣については、今後も積極的に派遣に向け社会教育関係職員への情報提供に努めます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(1) 生涯学習推進体制の確立			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習推進のための拠点施設設置	文化芸術振興課	B	B	B
	②社会教育職員研修の充実	地域教育支援課	C		
学識経験者等 意見	<p>・生涯学習センターの設置については、駅に近接し、市民にとって大変便利な施設になるため、市民がよりよい形で利用できる仕組みづくりを検討してもらいたい。</p> <p>・社会教育職員研修への派遣については、講習期間が40日間あり、派遣者を出しづらい状況は理解できるが、社会教育主事のニーズがあるなら、今後も計画的に派遣できるように対策を講じてもらいたい。</p>				B

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	①学習情報の提供システム整備			文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報「マナビガイド」を作成し、小・中学校、公民館等に配布します。</li> <li>市のホームページを活用した学習情報の提供を積極的に推進します。</li> </ul>				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>月間の講座や教室の情報をまとめた「マナビガイド」を毎月作成し、市民に配布する為、文化芸術振興課と地域教育支援課の窓口及び本庁舎南側玄関横のパンフレットコーナー、市内42箇所の公民館等の公共機関に設置しました。また、職員に周知するため各課に回覧用として配布しました。</li> <li>市のホームページに「マナビガイド」を毎月掲載しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	マナビ年間発行回数(回)	12	12	12	
	マナビ年間発行件数(部)	5,500	4,300	3,645	
評価の理由	印刷したものが余すことなく有効に活用されるよう、配布窓口や設置部数の見直しを随時行いました。平成24年度は新たに本庁舎南側玄関横のパンフレットコーナーに設置しました。毎月新しい情報を提供できており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	市内の生涯学習に関する情報が網羅されるよう、各機関との連携を密にし、より見やすい情報誌を目指します。				

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	②生涯学習に関する意識調査の実施			文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	市民が生涯にわたって学習活動を行いやすい環境の整備のために、定期的な各種調査活動を進めていきます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度から4年ごとに実施しています。</li> <li>平成24年度は、10月に実施した「市民意識調査」に含めて実施しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	調査回数	—	—	1	
評価の理由	これまで実施してきたような単独の調査は財政上の問題もあり、「市民意識調査」に含めて実施しました。調査項目数は十分ではありませんが生涯学習の取組状況等、必要最小限の情報が得られたので、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も、効率的な調査方法を検討し定期的実施していきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設					担当課	担当課評価
細 施 策	③町内公民館講座の開設支援					中央公民館	A
施策の内容	地域社会の連帯意識や地域の教育活動の振興を進めるために、自治会単位の公民館講座の開設に対して支援します。						
平成24年度実績	各町内等の公民館において地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする85講座を支援しました。						
指標及び説明	【指標】 町内公民館講座の開設数			【説明】 町内公民館講座の開催希望講座数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	講座	69	74	81	85		70
評価の理由	前年度比4件増の申請件数があり、各町内における公民館活動が活発に行われ、成果を上げており、順調に進ちよしております。						
改善の方策等	今後も各町内において多様な活動ができるよう、町内公民館講座の開設に向けて支援を行っていきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①学習情報の提供システム整備	文化芸術振興課	B	B	
	②生涯学習に関する意識調査の実施	文化芸術振興課	B		
③町内公民館講座の開設支援	中央公民館	A			
学識経験者等意見	子ども向けの講座や家庭教育向けの講座の充実を図ってほしい。				B



【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価			
細 施策	①ライフステージにおける課題の学習			中央公民館	A			
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。							
平成24年度実績	ライフステージにおける課題の学習機会の充実の講座数155講座、参加者延べ人数37,646人 (指標は公民館主催事業への参加者数を記載しているため、現代的課題の学習の参加者延べ人数21,048人、地域教育活動支援の講座参加者延べ人数20,717人、事務支援、事務援助参加者延べ人数8,745人、会議等2,482人を含む)							
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24				
	参加者延べ人数(人)	37,066	38,414	37,646				
指標及び説明	【指標】 生涯学習事業参加者数 (内訳として、①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数)		【説明】 公民館主催事業への参加者数 (H22年度より地域文化活動が市長部局に移管されているため、参考として①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数を表記する。)					
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値			目標値(H27)		
			H22	H23	H24	H25	H26	
	人	93,530	98,402	111,700	110,970			135,000
	①	71,603	75,876	91,643	90,638			103,000
②	21,927	22,526	20,057	20,332			32,000	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージにおける課題の学習は前年度比2%微減となっています。</li> <li>・22年度からは市長部局へ移行になった地域文化活動を除く。(21年度21,927人)</li> <li>・23年度からは事務支援、事務援助を新たに追加(23年度9,660人、24年度8,745人)</li> </ul>							
改善の方策等	各種講座の実施にあたっては、学習テーマや内容を工夫するなどして、魅力ある講座を継続的に実施し、充実した学習機会を提供していきます。							

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施策	②現代的課題の学習			中央公民館	B
施策の内容	社会的に要請される環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。				
平成24年度実績	現代的課題の学習機会の充実の講座数144講座・参加者延べ人数21,048人 (現代的課題の学習の成果実績は、公民館主催事業への参加者人数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	参加者延べ人数(人)	22,239	22,633	21,048	
評価の理由	講座参加者の延べ人数は、前年度より7%減となりましたが、講座開催の延べ回数は、前年度より4%増加(23年度657回、24年度686回)しており、概ね順調に進ちょくしています。				
改善の方策等	多様な学習機会の充実を図るため、NPO等との連携を検討していくとともに、充実した学習機会の提供に努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の教育活動を支援			中央公民館	A
施策の内容	地域で行っている教育活動を支援するための学習活動や情報の提供、事業等への支援に努めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の主催事業及び市との共催事業の講座数131講座、参加者延べ人数20,717人</li> <li>事務支援、事務援助の団体数49団体、参加者延べ人数8,745人</li> </ul> (地域の教育活動を支援の成果実績は、公民館主催事業への参加者数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	講座参加者延べ人数(講座数・人)	92・13,753	118・18,309	131・20,717	
	事務支援、事務援助(団体数・人)	—	50・9,660	49・8,745	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座参加者延べ人数は前年度比13%増です。</li> <li>市との共催事業は82講座です。(全体の63%・前年度比7講座減)</li> <li>平成23年度からは事務支援、事務援助を新たに追加し、事務支援事務援助が円滑に進められており、順調に進ちよくしています。</li> </ul>				
改善の方策等	地域の教育活動が活発になるよう、引き続き地域で行っている地域教育活動団体の教育事業等を支援します。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	A	A	
	②現代的課題の学習	中央公民館	B		
③地域の教育活動を支援	中央公民館	A			
				A	
学識経験者等意見	特になし				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校教育における人権教育推進事業			地域教育支援課	B
施策の内容	<p>・学校における人権教育の一環として、人権作文・人権標語・人権絵画の取組を、年間指導計画に位置付け、計画的に推進します。</p> <p>・人権教育推進のため、公民館区人権教育推進事業に係る研究を小・中学校に委嘱し、その実践報告を「人権教育実践集録」として発行します。</p>				
平成24年度実績	<p>・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進</p> <p>・人権絵画展を開催し、3日間で176人観覧者が来場</p> <p>・作文の優秀作品は、実践報告会で発表(6人)</p> <p>・「川越市の人権教育」の中に、人権教育実践集録として、各委嘱校・委嘱公民館の人権教育に関わる実践や授業研究会の記録などを報告書としてまとめました。</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	835	836	783	
	委嘱小・中学校数(校)	11	10	11	
評価の理由	<p>人権作文・標語・絵画については、800点近い応募がありました。優秀な作品を「あけぼの」に掲載し、各学校に配布することにより、人権教育指導資料として活用できました。委嘱小・中学校・公民館の実践を「川越市の人権教育」として、社会教育・学校教育の内容を1冊にまとめて活用できたなど、概ね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>第8次公民館区人権教育推進事業が平成25年度から始まることから、第7次までの成果を引継ぎ、更なる人権課題の解決に向けて取り組みます。</p>				

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②人権啓発活動の推進			地域教育支援課	A
施策の内容	<p>差別や偏見のない思いやりのある明るい地域社会を築いて行くため、児童生徒、社会教育施設利用者及び一般市民などを対象に、人権啓発活動を通して、人権意識の高揚と差別意識の解消に努めます。</p>				
平成24年度実績	<p>・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催</p> <p>・川越市人権教育実践報告会開催</p> <p>・人権文集「あけぼの」発行</p> <p>・人権カレンダー発行</p> <p>・広報紙「人権かわごえ」発行</p>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会(人)	213	213	228	
	人権教育実践報告会(人)	271	237	252	
評価の理由	<p>参加人数については、増加傾向を示しています。分科会等では活発な意見交換もあり、参加者からは、貴重な機会であったとの感想を得ることができたなど、順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<p>研修会の開催時間帯の検討や内容の充実を図り、参加者数の増加に努めます。</p>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実					担当課	担当課評価
細 施策	③人権教育指導者の養成					地域教育支援課	A
施策の内容	職場や地域社会における人権問題の解決を目指して、人権教育指導者養成講座を実施し、各種団体や家庭における人権教育指導者の養成を図ります。						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館における指導者養成講座の実施(17公民館で実施 87講座 参加者数4,000人)</li> <li>・小堤集会所事業指導者養成講座の実施(5回)</li> </ul>						
指標及び説明	【指標】 公民館における人権教育指導者養成講座参加者数			【説明】 公民館主催の人権教育指導者養成講座への参加者数			
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	人	3,798	3,766	3,813	4,000		4,000
評価の理由	参加者数も増加傾向に転じ、講師の選定や内容についても各公民館で工夫され、充実してきており、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	指導者養成講座の内容については、講演会だけでなく、人権感覚育成プログラムなどの体験学習を取り入れた内容を増やせるよう、公民館職員を県の人権教育研修会等へ参加を促します。						

施策の柱	(4)人権教育の充実					担当課	担当課評価
細 施策	④関係機関・団体等との連携					地域教育支援課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。</li> <li>・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。</li> </ul>						
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所事業各講座の実施(習字教室24回、カラオケ教室22回、フレンドスクール8回、成人講座5回、女性講座5回、高齢者講座5回)</li> <li>・心輝く書道展開催</li> <li>・集会所ふれあいまつり開催</li> </ul>						
成果実績	項目名(単位)		H22	H23	H24		
	集会所事業講座・教室参加者数(人)		1,357	2,327	2,222		
	ふれあいまつり参加者数(人)		238	198	267		
評価の理由	集会所事業のうちフレンドスクールは、多くの子どもたちの参加があり、昨年より100人以上の参加者増でした。参加者数が減少した教室等もありますが、全体的には概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	集会所事業の充実に向け、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等を更に工夫していくように努めます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校教育における人権教育推進事業	地域教育支援課	B	A	A
	②人権啓発活動の推進	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	A		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	B		
学識経験者等 意見	<p>・人権絵画展の観覧者については、もう少し増えるようにしてもらいたい。                  ・人権教育実践報告会や人権啓発フィルム研修会は、参加者がお互いに意見交換をしており、人権に対して考え直す、よい機会であるため、今後も継続して実施してもらいたい。</p>				A

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①公民館の設置			地域教育支援課	C
施策の内容	本庁、出張所区域と中学校区を勘案しながら、未設置地区については、身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進：建設検討懇話会実施(4回)</li> <li>・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進：建設用地取得、建設検討懇話会実施(4回)</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進：地元自治会長会議にて事業概要の説明会を開催(1回)</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	検討懇話会の開催回数(回)	4	—	—	
	建設検討懇話会の開催回数(回)	—	2	8	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ関北公民館整備推進及び(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進は、ともに建設検討懇話会において導入機能を協議しており、概ね順調に進ちよくしています。</li> <li>・(仮称)霞ヶ関西公民館は建設用地を取得しました。</li> <li>・(仮称)西公民館建設推進は、候補地の検討等具体的に進ちよくしていないことから、総合的に勘案するとあまり順調ではありません。</li> </ul>				
改善の方策等	霞ヶ関北公民館整備推進及び(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、建設予定地の管理に努めるとともに、引き続き施設機能について建設検討懇話会を開催し検討を進めてまいります。また(仮称)西公民館建設推進についても、地元と調整を図りながら建設候補地の決定に向け事業を推進してまいります。				

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②既存公民館の整備・充実			中央公民館	D
施策の内容	既存の公民館については、市民が利用しやすい学習施設の充実を図るため、大規模改修工事等整備充実に努めます。				
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修工事の実施件数 0件</li> <li>・全公民館からの修繕等要望件数86件、修繕実施件数10件、修繕要望件数の実施率12%</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	修繕等要望件数の実施率(%)	28	14	12	
評価の理由	建築後30年以上の公民館が11館と多く、老朽化した施設や設備の修繕や備品等の購入について、優先順位を定め執行するよう努めていますが、突発修繕に追われて計画的に修繕を行うことができていないため、進ちよくが順調ではありません。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東公民館は、大東市民センター(仮称)内に移転予定です。</li> <li>・南公民館は、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)内に移転予定です。</li> <li>・霞ヶ関北公民館は、移転改築のため現在検討が進められています。</li> <li>・市民にとって地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。</li> </ul>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(1) 身近な学習施設としての公民館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	C	C	C
	②既存公民館の整備・充実	中央公民館	D		
学識経験者等 意見	特になし				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①図書館サービス網の充実			中央図書館	C
施策の内容	「図書館サービス網計画」に基づき、市民が身近な場所で図書館サービスが受けられるよう分館整備を推進します。				
平成24年度実績	現在、南部地域(大東地区・福原地区)の分館建設の見通しが立たず、建設等に向けた推進ができない状況にあります。このため、図書サービスや利便性の向上を図るため、雑誌スポンサー制度を実施して資料の充実を図るとともに、返却ポストの増設について検討しました。				
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24	
	4館延べ開館日数(日)	1,171	1,169	1,171	
	総貸出冊数(冊)	1,909,514	1,948,284	1,920,055	
評価の理由	南部地域の分館建設の見通しが立っていない状況ですが、利用者が利用しやすいよう、平成22年度から、祝日開館の振替休館を廃止して図書館各館の開館日数を増やしたり、資料の貸出冊数の上限を増やすなど、図書館サービスの充実を図っています。				
改善の方策等	分館建設については、今後も状況を注視していくとともに、更なる図書館サービスの拡大に努めてまいります。				

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価		
細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実			中央図書館	A		
施策の内容	図書館サービスに関する多様な市民要望に応えるため、各分野の資料収集や学習・研究情報の提供サービス機能の充実に努めます。						
平成24年度実績	蔵書数は、中央図書館が499,109冊、西図書館が154,850冊、川越駅東口図書館が75,357冊、高階図書館が90,923冊で、4館合計では820,239冊となっています。						
指標及び説明	【指標】 蔵書数		【説明】 川越市立図書館の所蔵資料数(図書だけでなく視聴覚資料なども含む)				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	
	冊	799,883	805,270	812,526	820,239		860,000
評価の理由	平成24年度実績は820,239冊で、目標値の95%を達成し、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	全館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めます。						



【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進					中央図書館	C
施策の内容	生涯にわたる学習活動の充実のため、市立図書館の資料だけではなく、県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力の拡大を図り、図書館のネットワークを活用して学習活動を支援します。						
平成24年度実績	県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力を図り、更なる拡大のため市内大学図書館1館と連携検討中です。						
指標及び説明	【指標】 大学図書館との連携				【説明】 市内の大学図書館との相互協力校数		
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	校	1	1	1	1		2
評価の理由	大学図書館1館との連携を検討中ですが、実施に至っていないため、進捗はあまり順調ではありません。						
改善の方策等	今後、市内の大学と拡大を含め、積極的に協議検討していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービス網の充実	中央図書館	C	C	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	C			
学識経験者等意見	図書館における情報通信技術を使ったサービスの導入については、是非、検討をお願いしたい。				C

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施策	①展示機能の充実						博物館	B
施策の内容	常設展示の見直しを行い、新たな学術成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。							
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示見直しのため、学識経験者による常設展示検討委員会(1回)、庁内検討委員会(1回)を開催し、改修方針、工期、運営方法について検討しました。</li> <li>・市制施行90周年事業として特別展と名刀展を開催し、例年の企画展・収蔵品展に加え新作名刀展を開催しました。年間入館者数は94,318人と前年度比約4%の増加となりました。</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	人	89,022	77,163	90,746	94,318			100,000
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展の見直しについては、委員会を開催し検討を進めましたが、事業の着手時期に課題が残されています。博物館入館者数は、本丸御殿の保存修理後回復を見せ、特別展等の効果もあって昨年より増加しています。</li> </ul>							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き常設展示検討委員会で検討を重ね、内容をより具体的に詰めることでスムーズに設計・工事へ移行できるように準備を進めます。</li> <li>・企画展の開催に際しては、市民の興味・関心に応えるようなテーマ設定を引き続き工夫し、入館者の拡大に努めます。また他団体との共催や共同企画なども検討します。</li> </ul>							

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施策	②郷土資料の収集・保存						博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。</li> <li>・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足してきたため効率的な収蔵保管に努めるとともに、将来的な収蔵システムやスペースを検討します。</li> </ul>							
平成24年度実績	平成24年度は購入資料2点、寄贈資料385点を受入れ、収蔵資料の累計が37,031点となりました。また、市内1家からの寄託資料を整理し「菅間竹ノ谷家文書目録」を作成しました。							
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	点	35,850	35,972	36,644	37,031			40,000
評価の理由	博物館資料の将来的な収蔵スペース確保に係わる施設について、庁内の関係課で検討が行われました。資料収集については、収蔵スペースの不足のため大型民具に限って制限していますが、収蔵資料は全体として着実に増加し活用が図られているため、概ね順調に進捗しています。							
改善の方策等	郷土資料は、現地保存ができない場合には博物館で寄贈・寄託により受け入れる必要があります。引き続き効率的な収蔵に努めるとともに、新たな収蔵スペースの検討を進めます。貴重な資料の収集については、購入できない場合、寄託により収集を積極的に進めます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実					担当課	担当課評価	
細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化					博物館	A	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。</li> <li>小・中学校との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。</li> </ul>							
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人向け事業の参加者数は1,667人、子ども向け事業の参加者数は2,109人でした。</li> <li>教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ94校・8,206人、市外227校・22,909人の総計321校・31,115人でした。</li> <li>このほかにも教育活動の一環として市内の幼稚園、1園・53人が利用しました。</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】 ①博物館の講座・教室の参加者数 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数			【説明】 ①博物館主催の講座・教室への参加者数 ②小中学校・高校・大学の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	① 人	3,194	2,970	3,000	3,776			3,400
	② 校	268	275	324	321			300
評価の理由	小・中学校の校外学習のための学習カードや学校利用マニュアルを作成し、効果的な博物館活用が図れました。講座・教室の参加者は、目標値を上回り、前年度比約26%増加しました。また博物館利用の学校数は、昨年と比べ若干減少しましたが、目標値を上回っているため順調に進捗しております。							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色を生かした魅力ある大人向けの講座を引き続き実施していく必要があります。また歴史に興味・関心を持つ人の社会貢献の場として、ボランティアガイドの養成、充実に努めます。</li> <li>小・中学校の校外学習として、博物館や川越を利用する先生方に、効果的な活用方法を提案するとともに、引き続いて学習カードや学校利用マニュアルの充実を図ります。</li> </ul>							

施策の柱	(3)博物館の整備・充実					担当課	担当課評価
細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備					博物館	C
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。						
平成24年度実績	博物館は、主に老朽化に伴う施設(ガラス・空調機・誘導灯等)の修理を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。また蔵造り資料館も同様に老朽化に伴う施設(土壁・照明器具等)の修理を行い施設整備に努めました。						
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24			
	施設・設備の修繕件数(件)	27	33	21			
評価の理由	博物館及び資料館の機能を維持するために、応急的な修繕を実施してきましたが、老朽化による修繕必要箇所を多く抱えており、施設整備面で遅れているため、あまり順調ではありません。						
改善の方策等	将来にわたって博物館の機能を維持または充実していくためには、必要性の高い緊急的な修理に対応しながら、展示施設のリニューアルの検討を進めてまいります。また築120年以上を経過している蔵造り資料館は、耐震診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強と併せて保存修理を計画していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(3) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	B	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	A		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	C		
学識経験者等 意見等	<p>・学校の子どもたちに対する教育講座は、地域の歴史等を知ることができ、地域の子どもにとって大変重要だと思うため、実施回数を増やしてもらいたい。</p> <p>・初級講座を受講した子どもたちには、学習意欲が増すような中級・上級講座を開設し、地域を知るきっかけを作ってもらいたい。</p>				B

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進  
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進		担当課	担当課評価			
細 施 策	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)		文化スポーツ部 文化芸術振興課	C			
施策の内容	市民の高度で体系的な学習欲求に対応するために、近隣大学(市内4大学・市外1大学)との連携により市内各大学施設等を活用し、市民のリカレント教育の機会の拡充を図ります。						
平成24年度実績	平成23年度に実施された公開事業点検の結果、「川越シティカレッジ」は廃止されましたが、「川越市と市内大学との連携に関する基本協定書」に基づき、市内4大学と川越シティカレッジの受講生等の市民代表により検討会議を開き、「川越大学間連携講座」を開催することとなりました。平成24年度は、日程の調整がつかず、2大学のみの実施でしたが、95人の受講がありました。						
指標及び説明	【指標】 川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座の開催)		【説明】 川越シティカレッジの年間開催数 (平成24年度より川越大学間連携講座の年間開催数)				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	回	5	6	6	2		6
評価の理由	検討会議を開催したことにより、大学と受講生双方の意見を聴くことができました。平成24年度は2回の開催で、開催回数は前年度よりも減り、目標値を下回りましたので、進捗よくがあまり順調ではありません。						
改善の方策等	今後も市民の意見・要望を取り入れながら、市内4大学と連携し、それぞれの大学の特性を生かした講座を開催してまいります。						

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進		担当課	担当課評価
細 施 策	②大学と連携した人材の育成		文化スポーツ部 文化芸術振興課	C
施策の内容	市内各大学との連携により、地域の課題に対応した専門的な知識・技能やマネジメント能力を有する人材を育成します。			
平成24年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度から21年度は、尚美大学と連携し「地域活動コーディネーター養成講座」を開催してまいりましたが、平成22年度からは、平成13年度から18年度まで川越市が主催したシニア講座の修了生が運営する「川越シニア大学小江戸塾」と連携して「ふるさと塾」を開催し、地域の生涯学習ボランティアとして公民館や学校での体験学習・支援活動に関わるシニアの人材育成を行いました。</li> <li>平成24年度は、「ふるさと塾」の講座は全11回行い、38人の受講がありました。</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H22	H23	H24
	地域活動コーディネーター養成講座開催数(回)	—	—	—
	ふるさと塾開催数(回)	1	1	1
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度は、大学との連携による人材の育成ではなく「川越市提案型協働事業」として実施する「ふるさと塾」の運営を支援しました。</li> <li>「大学と連携した人材育成」という点では進捗よくがあまり順調ではありません。</li> </ul>			
改善の方策等	今後は「ふるさと塾」の運営支援と併せ、「川越大学間連携講座」の中で、地域の課題に対応した専門的な知識・技術やマネジメント能力を有する人材を図る講座を検討してまいります。			

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(4) 高等教育機関等との連携・協働の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)	文化芸術振興課	C	C	C
	②大学と連携した人材の育成	文化芸術振興課	C		
学識経験者等 の意見	特になし				